

## バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

学会名	宇都宮大学オプトバイオシンポジウム2017 (2017年12月13日、宇都宮大学 峰キャンパス 大学会館2階多目的ホール・談話室)
演題名	強光環境下で培養したEuglena細胞におけるジャスモン酸の機能解析
発表者	齊藤圭祐○、齋藤梓○、丹野夕麗※、 <u>加藤翔太</u> 、 <u>湯本絵美</u> 、横田孝雄、山根久和、篠村知子
内容	Euglenaに存在するジャスモン酸の機能を明らかにする目的で、私達は、強光環境下でEuglenaを培養した場合に内生JA量がどのように変動するかを調べました。さらに、培地へジャスモン酸類を添加することが強光環境下で生育しているEuglenaの光合成色素含量にどのような影響を及ぼすかを解析した結果を報告しました。 本研究は、卒研究生の齊藤圭祐君および齋藤梓さんの卒業研究の結果の一部を報告したものです。本研究の一部は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、および科学研究費補助金(基盤研究C)の支援を受けました。
関連画像	